

## 7 ソフトテニス

- 大会名称 平成29年度宮崎県高等学校新人総合体育大会・第60回ソフトテニス競技大会  
兼第43回全日本高等学校選抜ソフトテニス競技大会県予選会兼第47回九州高校新人ソフトテニス競技大会県予選会
- 主催 宮崎県高等学校体育連盟・宮崎県教育委員会
- 後援 公益財団法人宮崎県体育協会・宮崎県ソフトテニス連盟
- 主管 宮崎県高等学校体育連盟ソフトテニス専門部
- 1 期 日 平成29年11月1日(水)～11月3日(金)
- 2 会 場 KIRISHIMAヤマザクラ宮崎県総合運動公園庭球場
- 3 競技規則・競技方法  
(1) ソフトテニスハンドブックによる。  
(2) 7回ゲーム  
(3) 学校対抗戦…予選トーナメント・決勝リーグ  
個人対抗戦…予選トーナメント・2次リーグ・決勝トーナメント
- 4 引率・監督  
(1) 引率責任者は、校長の認める当該校の職員とする。  
(2) 監督・コーチ等は、校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。  
ただし、外部指導者について各競技専門部における規程が定められ、監督・コーチが上記の基準より限定された範囲内であれば、その規程に従うことを原則とする。
- 5 参加資格  
(1) 選手は宮崎県高等学校体育連盟に加盟している高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。  
(2) 年齢は、平成11年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場回数は同一競技2回までとする。  
(3) チームの編成において、全日制課程と定時制・通信制課程の生徒による混成は認めない。  
(4) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる参加は認める。  
(5) 転校後6ヶ月未満の者は参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる)ただし、一家転住等やむを得ない場合は、所属高等学校長の申請により宮崎県高体連会長の認可があればこの限りではない。  
(6) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の承認を必要とする。  
(7) 外国人留学生の参加については、学校対抗戦・個人対抗戦ともにエントリー数の20%前後とする。  
(8) 上記の条件に違反した場合、または高等学校生徒として品位を保てない場合等には、出場を取り消すことがある。  
(9) 参加資格特例  
上記(1)に定める生徒以外の参加については宮崎県高等学校総合体育大会開催基準要項のとおりとする。
- 6 参加制限  
(1) 学校対抗戦 4ペア編成1チーム。  
(2) 個人対抗戦 各学校8ペア以内。
- 7 表彰  
学校対抗戦男女第3位まで、個人対抗戦男女第3位まで表彰する。

## 8 参加申込

- (1) ソフトテニス専門部の申込システム（詳しくは申込要領を参照）にて、データを作成し、[stamiyazakikoutairen@yahoo.co.jp](mailto:stamiyazakikoutairen@yahoo.co.jp)に、メール送信する。
- (2) 完成した申込用紙をプリントアウトし、公印を捺印し、以下の申込先に郵送する。

郵送先

〒882-0007

延岡市 桜ヶ丘3丁目7122番地 延岡商業高等学校内

高木 秀樹 宛 Tel 0982-32-6348

### (3) 申込締切

平成29年10月6日（金）必着のこと。締切後は受け付けない。（FAX不可）

- (4) 個人対抗戦の申込については、強い順に記入のこと。
- (5) ペアが成立しない場合の1名での参加は認めない。

## 9 競技日程（エントリー数により、学校対抗戦・個人対抗戦の競技日程を変更する場合があるので監督会議で確認する。）

			受付完了	競技開始	競技終了
11月	1日(水)	個人対抗戦	9:00	9:30	17:00
11月	2日(木)	学校・個人対抗戦	9:00	9:30	17:00
11月	3日(金)	学校対抗戦	9:00	9:30	17:00

## 10 会議・組合せ抽選会

専門委員会 10月18日(水) 9:00~16:00 会場：宮崎南高校

監督会議・審判講習会 10月19日(木) 9:30~16:00 会場：県総合運動公園合宿所・庭球場

※ 監督会議終了後組合せ抽選会を行う。監督会議には各校1名以上出会うこと。

実技のできる服装・用具を準備すること。

無断欠会の場合は出場停止とする。（欠会する場合は必ず委任をすること）

### 11 資格取得

下記の通りの出場権を得る。

全国選抜九州予選会 (熊本県総合運動公園テニスコート)	九州新人大会 (同左)
学校対抗戦 上位2チーム	個人対抗戦 上位8ペア

### 12 連絡事項

- (1) 競技中の疾病、傷害等の応急処置は主管側で行うが、その後は日本スポーツ振興センターの規定に従って各学校で処置すること。
- (2) 参加者は健康保険証を持参すること。
- (3) 使用球は男子ケンコー、女子赤Mとする。
- (4) 服装においては(公財)日本ソフトテニス連盟ソフトテニスハンドブックのユニフォーム等の着用基準を厳守すること。また背部に日本ソフトテニス連盟指定のゼッケンを着用すること。
- (5) ベンチは若い番号の方を北側とする。
- (6) 学校対抗戦のベンチは監督1名、選手8名とする。
- (7) 審判は原則として敗者審判とする。

※高体連大会で取り扱う個人情報については、要覧記載の「宮崎県高等学校体育連盟個人情報保護方針」に則る。